



宮崎県立都城さくら聴覚支援学校



所在地 〒885-0094 都城市都原町 7430 番地
 電話番号 0986(22)0685 FAX番号 0986(22)0628
 ホームページ <http://cms.miyazaki-c.ed.jp/9821/>

<めざす幼児児童生徒像>

- 心ゆたかで健康な人
- すすんで学ぶ人
- はたらく喜びをもつ人

・ 在籍者数、学級数(令和3年5月1日現在)

学部 学級	幼稚部			小学部						中学部				高等部				合計	
	年少 (ぱんだ)	年中 (うさぎ)	年長 (きりん)	1年 1組	2年 1組	3年 1組	4年 1組	5年 1組	6年 1組	4・6 2組	1年 1組	2年 1組	2年 2組	3年 1組	1年 1組	2年 1組	3年 1組		3年 2組
人数	3	2	3	3	1	2	2	3	1	2	3	1	3	1	1	1	2	2	36

・ 学校及び学科・コースの特色

<本校の特色>

本校は、聴覚に障がいのある幼児児童生徒の学校です。個性を重んじ、一人一人の障がいの状態や発達段階、特性等に応じた適切な指導及び支援を行い、自立し、積極的に社会参加できる力を育みます。

高等部の校区は県下全域となっており、希望者には寄宿舎も準備しています。



歓迎行事における幼稚部から高等部までの交流

<教育課程>

高等部普通科は、Aコース(就職やセンター試験で全科目受験を必要としない大学等への進学を目標としたコース)、Bコース(センター試験で全科目受験を目標としたコース)があり、1年次は全員Bコースで学び、2年次に各コースに分かれ、進路に応じた学習に取り組めます。

自立活動の授業では、個々の障がいや自己理解に繋がる学習のほか、社会で主体的に生きていく力をつける活動を行います。中学・高等部で活動するキャリア学習も充実しています。

<生徒会活動・委員会活動>

歓迎行事や文化祭、生徒総会など、行事や学校生活に関する事を、生徒会を中心に準備等を行っています。中高合同の委員会も設置されており、目標や活動内容等を話し合い、自分たちの学校を自分たちでよくしていこうという思いで、協力して活動しています。

<各種検定等>

各学カテストや実用英語技能検定、日本漢字能力検定に加え、日本語ワープロ検定試験や情報処理技能検定(表計算)など情報処理関係の検定に取り組み、資格の取得に力を入れています。また、聴覚障害者福祉協会主催の読字力検定試験が毎学期実施されています。

<部活動>

部活動は、陸上部、バドミントン部、美術部（休部）があり、放課後等に活動を行っています。陸上部やバドミントン部は高等学校総合体育大会に参加しており、対外的な活動も積極的に行っています。

<インターンシップ>

高等部では、1学期に職場体験を行っています。個々の将来の進路や実態に応じた企業等での職業体験を通して、働くことの意義や心構えなどを学び、進路選択に役立てています。また、進路希望により個別実習を計画することもあります。

トピックス

今年度入学生から、制服のデザインが新しくなりました。冬服はグレーのブレザーに格子のスラックスやスカートの組合せです。なお、スラックスとスカート、リボンとネクタイについてはどちらを選んでも構いません。



・卒業後の進路

卒業後の進路は、県内・県外の企業への就職、進学、福祉施設等での就労など、生徒の実態に応じて多様化しています。卒業後のフォローも大切にしています。

年度	卒業生 人数	就 職		進 学				その他 施設等
		県 内	県 外	開発校	専攻科	大 学	その他	
H28	4		3			1		
H29	4	1	3					
H30	2				2			
R 元	8	2	1			2		3
R 2	3	2				1		

<主な就職先>

県内 都城ヤクルト、宮崎日機装、JA、けいめい記念病院、GMOドリームウェーブなど

県外 トヨタ車体、トヨタ自動車、日産自動車、デンソー、日本ハードウェア、京セラ国分工場など

<主な進学先>

筑波大学附属聴覚特別支援学校専攻科、日本社会事業大学、日本福祉大学、南九州大学など

・在校生からのメッセージ

都城さくら聴覚支援学校の高等部に入学を希望している皆さん、高等部では、勉強がもっともっと難しくなります。卒業後の進路についても早めに考える必要があります。私たちと一緒にがんばりましょう。今も新型コロナウイルスの影響が続いています。感染に気を付けながらの学校生活ですが、協力して楽しい学校生活にしていきたいと思います。

